

令和6年度自治体保健師の魅力発信イベント開催報告

- 1 日時・会場：令和6年12月21日（土）13：30～15：30 マリオス18階（183～185会議室）
- 2 目的：保健師の人材確保が困難な自治体がみられる中、自治体への就職に興味、関心をもつ看護学生に保健師の活動と魅力を伝え、保健師の道を選択してもらうことを目的として開催する。
- 3 参加者：岩手県内の大学及び専門学校の看護学生 17名
- 4 参加自治体：大船渡市、北上市、一関市、岩泉町、田野畑村、普代村
- 5 実施内容：

前半は、保健師3年目の矢巾町の保健師 山田芽生さんから「自治体保健師になろう！」と題し、保健師を目指したきっかけ、保健師として活動する中での苦労ややりがいについて、岩手県保健福祉部の保健師 湊香奈子さんからは「自治体保健師への道」と題し、主に県で働く保健所保健師の仕事について、災害発生時の支援活動にも触れながら、保健活動の魅力を伝えていただきました。

後半は、学生が参加自治体ブースを訪問する形式で、自治体の特色や力を入れている保健活動などを直接学生に伝えていただきました。各自治体では、ご当地キャラクター（マスコット）や観光地ポスター・のぼり旗を掲げるなど工夫を凝らし、学生へのプレゼンテーションも熱く、学生も楽しそうに、そして真剣に聞き入っていました。

参加した学生からは「昨年も参加したが、今年は参加している全市町村から話を聞くことができた。地域住民に近い保健師になりたい。各地域のカラーがあり、職員に元気があった。来年もぜひ参加したい。」など嬉しい感想が聞かれ、自治体保健師の魅力が大いに伝わる機会となりました。

【イベントの様子】

